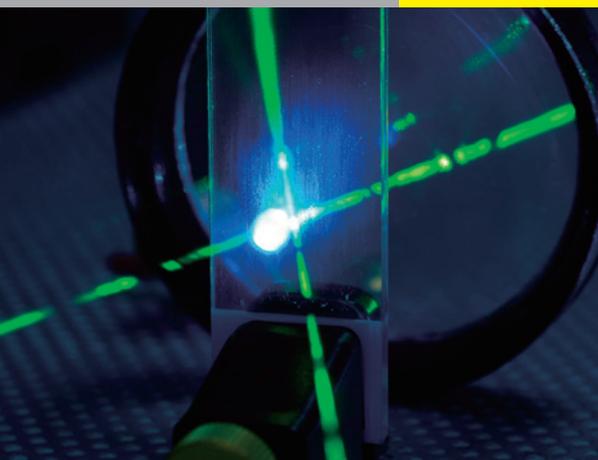




Next generation optical performance

AQ6380
光スペクトラムアナライザ



モバイルブロードバンドアクセスの世界的な成長は、人々の生活、仕事、およびコラボレーションの方法を変化させてきました。モバイルユーザー数の増加とIoTやクラウドなどの通信サービスの拡大が、データトラフィックの急速な増加を促進しています。

高まり続けるデータトラフィックの需要が通信システムの性能目標を押し上げ、5Gや波長分割多重(WDM)などの通信技術は継続的に開発、展開され、さらに進化しています。光チャネルはより高密度化し、光デバイスやコンポーネントの品質・性能の評価・試験には、より高い精度が求められます。

光スペクトラムアナライザは、光通信ネットワーク機器および光コンポーネントのR&Dや生産に欠かせない測定器となっています。YOKOGAWA AQ6380は、最先端のモノクロメータ技術により、次世代通信ネットワークに使用される光トランシーバやコンポーネントの研究開発に必要な測定性能を提供します。

性能—優れた波長分解能、波長確度、および近傍ダイナミックレンジにより、近接した光信号を明確に分離して正確に測定します。

生産性—直感的なタッチ操作、自動波長校正、掃引速度の最適化、カスタマイズ可能なアプリケーションなどのスマートテクノロジーと機能により、測定効率と生産性の向上に貢献します。

技術力—40年以上にわたり、当社のR&Dおよび製品スペシャリストチームは、お客様のニーズに耳を傾け、測定課題に対する革新的で効果的なソリューションを継続的に提供します。

比類なき光学性能

よりシャープに、より深く、より正確に

- 高い波長分解能：5 pm
- 高い波長確度：±5 pm
- 広い近傍ダイナミックレンジ：65 dB
- 高い迷光抑圧比：80 dB

高速測定

高分解能、高サンプル数でも速い

- 高速化を実現する新しい感度モード「RAPID」を搭載

自動波長校正

- 内蔵光源によるフルオート定期波長校正
- 外部光源によるセミオート波長校正

ガスパーズ機構

- 1380 nm 付近に見られる水蒸気の吸収スペクトルの影響を低減



マルチタッチ対応大型LCD

- 多くのお客様により認められた使いやすい操作性を継承
- タッチパネルにより、直感的な操作性がさらに向上

DUT 指向のテストアプリ (APP)

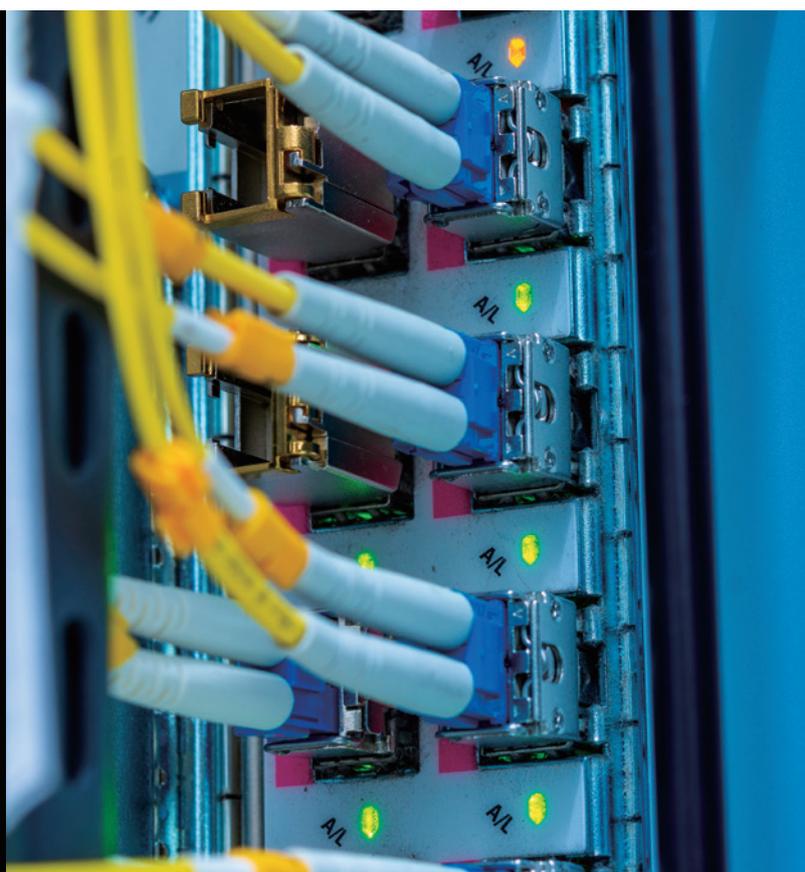
複雑なテストプロセスを簡単に実現

- 基本アプリを標準搭載
- 公開アプリやカスタムアプリを追加可能



優れたアプリケーション適応力

- レーザーおよび光トランシーバ (PEAK、SMSR、OSNR)
- 光増幅器 (ゲイン、雑音指数)
- 広帯域光源
- パッシブ光コンポーネント：
光ファイバー、光フィルター、FBG (Fiber Bragg Grating)、
ROADM (Reconfigurable Optical Add-Drop Multiplexer)、
WSS (Wavelength Selective Switch)

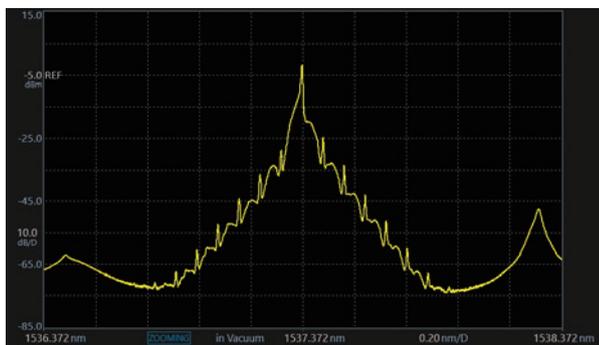


比類なき光学性能

よりシャープに、より深く、より正確に

5 pmの最高波長分解能

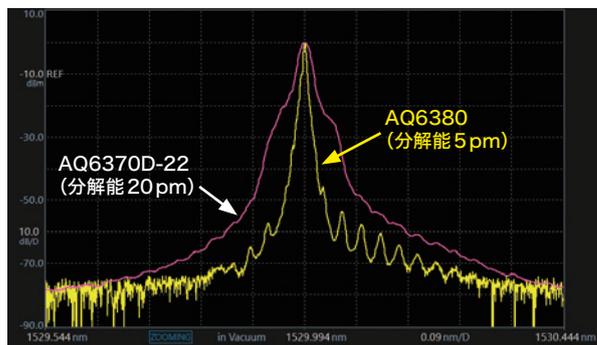
AQ6380は5 pmの最高波長分解能を実現します。これにより、密接に割り当てられたDWDMチャネルや光トランシーバの変調サイドピークを分離できます。



10G光トランシーバの変調スペクトル測定例

65 dBの広い近傍ダイナミックレンジ

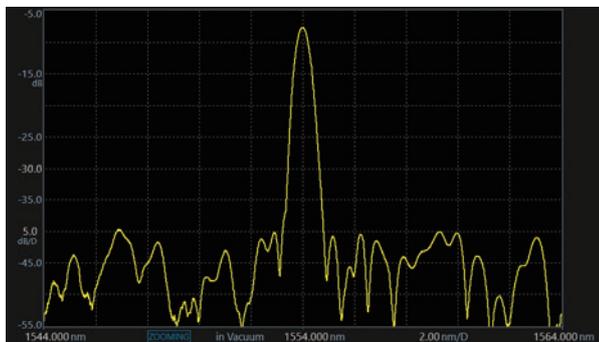
AQ6380のモノクロメータは、従来モデルよりシャープな分光特性を備えているため、外部共振器レーザーの残留する縦モードなど近接する信号を明確に分離して正確に測定できます。



外部共振器レーザーの測定例

幅広い波長帯域と分解能設定により 多様なアプリケーションへ対応

AQ6380は、1200から1650 nmの波長帯域を有しているため、多様化する波長測定ニーズに1台で対応ができます。また、波長分解能は5 pmから2 nmまで変更できるため、狭帯域のピーク/ノッチ測定から広帯域のスペクトル測定まで幅広いアプリケーションをサポートします。さらに分解能の拡大は、広帯域で微弱な光信号測定における測定速度と測定精度の向上が期待できます。

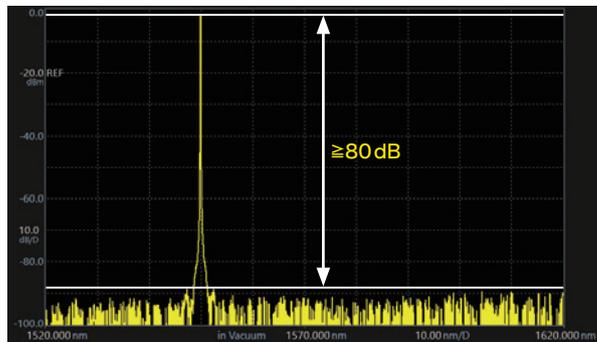


光フィルターの透過スペクトル測定例

80 dBの高い迷光抑圧比

迷光は、入射された光がモノクロメータ内部で乱反射することで引き起こされる光学ノイズです。レーザーのサイドモード測定などレベル差のある光スペクトルを同時に測定する場面では、迷光が測定の妨げになる場合があるため、高い迷光抑圧性能が求められます。

AQ6380は、80 dBの優れた迷光抑圧性能により、高ダイナミックレンジの測定を実現します。また、測定原理上、スプリアスノイズは発生しません。



迷光抑圧性能

±5 pmの最高波長精度

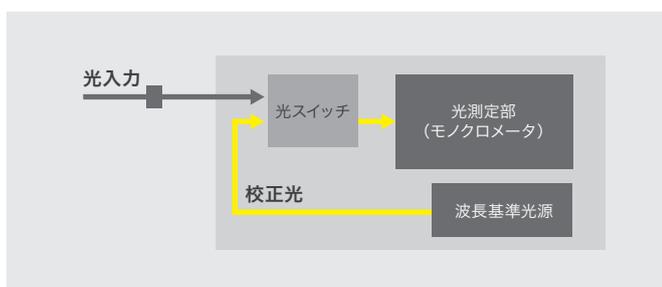
AQ6380は、最も厳しい精度要件を満たすために、Cバンドで±5 pmの波長精度を実現します。また、SおよびLバンドで±10 pm、全測定範囲で±50 pmの波長精度を提供します。この高波長精度により一部のアプリケーションでは、光波長計の代わりとして使用できます。

内蔵の波長基準光源を使用した定期的な自己波長校正により、長期的に高い測定安定性を実現します。

自動波長校正

周囲温度の変化、振動、衝撃は、光スペクトラムアナライザなどの高精度製品の測定精度に影響を与えます。AQ6380は、高い測定安定性を実現するために、校正用内部光源を利用した自動波長校正機能とアライメント調整機能を標準搭載しています。

- 内部光源による波長校正は、外部ファイバコードを抜き差しすることなく、フルオートかつ定期的に行われます。
- 外部光源による波長校正にも対応しています。外部光源の正確な波長を設定することにより、校正を実行できます。



内部光源による波長校正のしくみ

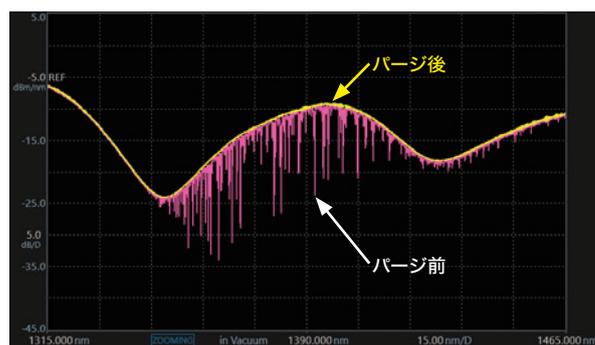
シングルモードファイバー入力

AQ6380の光入力部には、PCタイプのシングルモードファイバーが使用されているため、PCタイプの光プラグを接続した場合でも30 dB以上の高い光反射減衰量を達成します。これにより、反射光に敏感な光デバイスの測定への影響が軽減されます。

ガスパージ機構

近赤外域には、大気中の水蒸気の影響により強い光吸収が見られる波長領域が存在します。光スペクトラムアナライザの測定では、モノクロメータ内部の水蒸気の影響が顕著に検出される波長帯があります。このような現象は、該当する波長帯での正確な光スペクトル測定を妨げる可能性があります。

AQ6380には、背面パネルの専用ポートから窒素または乾燥空気を継続的に供給することにより、モノクロメータ内部の空気を置き換えるパージ機構が装備されています。そのため、水蒸気の影響を受けることなく、正確な光スペクトル測定を実現できます。



パージの効果



パージガス給排気口(入力、出力)

測定効率と生産性を向上

従来比 最大20倍の高速測定

CW光に特化した新しい感度モード「RAPID」の搭載により、当社従来機種比で最大20倍の速度で測定できます。

当社従来機種との比較

モデル	測定時間	感度設定
AQ6380	0.23 s	RAPID1 (avg. 3)
AQ6370D	5.4 s	NORM_AUTO

スパン100 nm、分解能20 pm、サンプル間隔2 pm、ノイズレベル約-60 dBmにおける参考値

測定時間を短縮する最適な感度設定

測定感度の設定は測定時間を大きく左右する要因の一つです。AQ6380には、2モード/19ステップの感度設定があるため、光信号の種類や必要な最小受光感度に合わせた最適な感度選択により測定時間を短縮することができます。

また、測定感度の設定は数値でも行うことができます。必要な最小感度を直接入力することにより、適切な感度設定が自動的に選択されます。

RAPID : CW光の高速測定に特化した感度モード

TRAD : CW光およびパルス光測定に対応する従来の感度モード

RAPIDモード

感度設定	感度 (dBm)
RAPID1	-55
RAPID2	-60
RAPID3	-65
RAPID4	-70
RAPID5	-75
RAPID6	-77

TRADモード

感度設定	感度 (dBm)
N/HOLD	-61
N/AUTO (2x)	-58
N/AUTO	-60
NORMAL (2x)	-63
NORMAL	-65
MID (2x)	-68
MID	-70
HIGH1 (2x)	-78
HIGH1	-80
HIGH2 (2x)	-83
HIGH2	-85
HIGH3 (2x)	-88
HIGH3	-90

※感度は、波長1550 nmにおける参考値であり、保証値ではありません。

テストシステムの更新を容易にする 下位互換のリモートインタフェース

AQ6380は、リモート制御インタフェース（イーサネットまたはGP-IB）を使用して自動測定システムを簡単に構築できます。

リモートコマンドは、AQ6370シリーズやAQ6319と互換性のあるIEEE488.2に適合したStandard Commands for Programmable Instruments (SCPI) に準拠しているほか、AQ6317シリーズで使用される当社独自のリモートコマンドにも対応、既存の測定システムのアップグレードも簡単です。

測定後の評価を短縮する 標準搭載のデータ解析機能

AQ6380には、さまざまな光システムおよび光デバイスの光スペクトル特性を評価するための解析機能が組み込まれています。測定対象の主要パラメータの自動計算は、特性評価時間の短縮に貢献します。

主な解析機能:

- DFB-LD
- FP-LD (VCSELを含む)
- LED
- スペクトル幅 (ピーク/ノッチ)
- SMSR
- 光パワー
- WDM (OSNR)
- EDFA (ゲインとNF)
- フィルター (ピーク/ボトム)
- WDMフィルター (ピーク/ボトム)



DFB-LDのSMSR解析例

測定プロセスを簡潔化する DUT指向のテストアプリ (APP)

アプリケーション (APP) モードは多用途なAQ6380を測定対象デバイス (DUT) 専用の測定器に変身させます。APPモードは、測定条件設定から解析結果出力に至るまでお客様をナビゲートするDUT固有のユーザーインターフェースを提供します。お客様はAQ6380の様々な設定を意識することなく使用することができます。

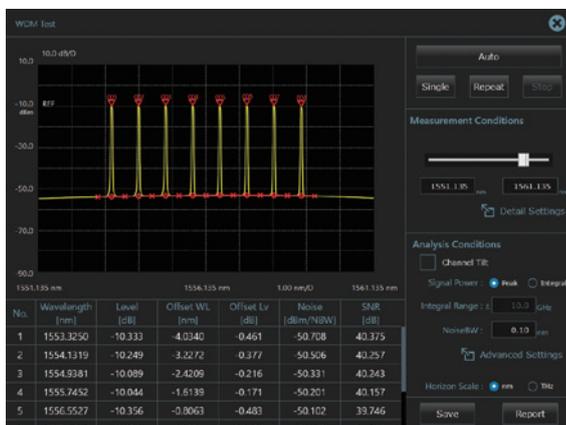
アプリの基本動作



AQ6380には、WDMテスト、DFB-LDテスト、FP-LDテストなどのいくつかの基本的なアプリがプリインストールされています。また、YOKOGAWAのウェブサイトからダウンロードしたアプリをAQ6380に追加して使用することもできます。



APPメニュー画面



WDMテストアプリ

エミュレーションとリアルタイム遠隔制御を実現する OSA Viewer

OSA Viewerは、YOKOGAWA光スペクトラムアナライザの複数モデルに対応したPCアプリケーションソフトウェアです。(別売のAQ6370 Viewerに同梱)

AQ6380モードは、AQ6380 光スペクトラムアナライザと完全に互換性のあるユーザーインターフェースと機能を備えているため、お客様はAQ6380の波形をPC上に簡単に表示し、解析することができます。

主な機能：

- 波形データの表示と解析 (エミュレーション)
- AQ6380のリアルタイム遠隔制御
- AQ6380とのファイル転送

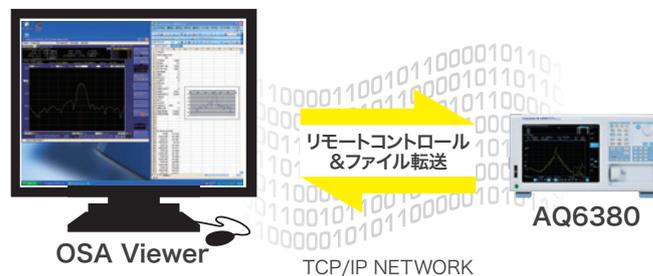
リアルタイム遠隔制御

直接またはネットワークを介して接続されたAQ6380を遠隔制御することができます。

PC画面上には、AQ6380に表示されている画面がほぼリアルタイムに表示され、AQ6380を直接使用している感覚で操作することができます。また、遠隔操作中にAQ6380によって取得されたデータをPCに転送することもできます。

活用例

- 研究開発者：評価試験の実行と解析、生産における測定条件の最適化やトラブルシューティング
- 生産管理者：遠隔からの生産ラインの測定結果の収集と解析



タッチパネルにより操作性がさらに向上

実績のあるデザインと操作性

AQ6380の画面デザインと直感的な操作性は、YOKOGAWAのベストセラー光スペクトラムアナライザから受け継がれています。このユーザーインターフェースは、研究開発や製造などの分野で、世界中の多くのお客様から高い評価をいただいています。

マルチタッチ対応大型LCD

マルチタッチ対応の静電容量式タッチパネルを搭載した高解像度で応答性の高い10.4型LCDディスプレイにより、操作がさらに簡単で直感的になりました。タブレット端末を操作する感覚で、測定条件の変更、測定や解析の実行、光スペクトルビューの変更などを行うことができます。光スペクトルビューでは、タップ&ドラッグするだけで波形ビュー領域をズームまたはシフトできます。

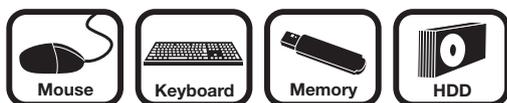
強化されたファンクションキー

フロントパネルのファンクションキーに掃引制御 (Auto/Single/Repeat/Stop)、分解能設定、感度設定などの頻繁に使用するキーが追加されました。これにより操作ステップが減少し、使いやすさが一段と向上しました。さらに、ファンクションキーを画面にポップアップ表示させ、タッチ操作することもできます。



USBポート

AQ6380には、USBデータストレージデバイス、マウス、キーボードと互換性があるUSBポートを搭載しています。ファイル機能により、お客様はデータやスクリーンショットを内部メモリまたはUSBストレージに保存して、テストレポートの作成に使用できます。また、USBポートにマウスやキーボードを接続すれば、PCで操作する感覚でAQ6380を快適に操作することができます。



LAN経由のデータアクセス

LAN接続時は、PCからネットワークを介して内部メモリに保存されているファイルに簡単にアクセスできます。

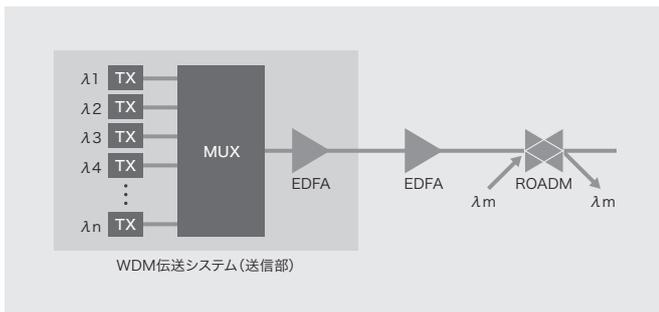
また、PCからファームウェアをリモートで更新することもできます。

測定アプリケーション

WDM 伝送システム

複数のチャンネルが狭い間隔で配置された DWDM システムの評価では、レーザーモジュールや光トランシーバなどのシステム構成部品とシステム最終出力信号を評価する必要があるため、高い光スペクトル測定性能が必要です。これには、チャンネルピークと OSNR の同時測定が含まれます。

AQ6380 の広い近傍ダイナミックレンジにより、DWDM 伝送システムの正確な OSNR 測定が可能になります。また、WDM 解析機能は、測定された波形を解析し、最大 1024 チャンネルの WDM 信号のピーク波長、ピークレベル、および OSNR を同時に表示できます。



レーザー/光トランシーバ

レーザーデバイス、レーザーモジュール、光トランシーバなどの WDM 伝送システムで使用される光コンポーネントの検査にも高い測定精度が必要です。

これらのアプリケーションには次のものが含まれます。

- 光トランシーバおよびトランスポンダの変調信号測定
- 100G を超える WDM テクノロジを使用した光トランシーバの全チャンネルの測定

AQ6380 は、シャープな分光特性と高い迷光抑圧性能により、近接する光スペクトルピークを視覚化して正確に測定できます。



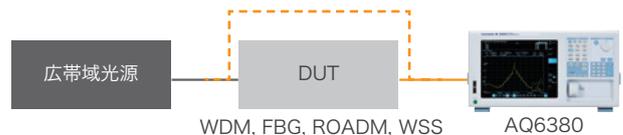
DFB-LD の解析例



DWDM の OSNR 解析例

パッシブ光コンポーネント (FBG/WSS)

AQ6380 は、ASE 光源、SLD 光源、スーパーコンティニューム (SC) 光源などの広帯域光源と組み合わせて、WDM フィルター、FBG、ROADM、WSS などのパッシブ光デバイスやコンポーネントの評価を簡単に実行できます。AQ6380 の優れた光学特性により、より高い分解能とより広いダイナミックレンジの測定が可能になります。内蔵の光学フィルター解析機能は、ピーク/ボトム波長、レベル、クロストーク、およびリップ幅を同時に求めることができます。



主な仕様

項目	仕様	
適合ファイバー	SM (9.5/125)	
波長範囲	1200~1650nm	
スパン	0.1~450nm、0nm	
波長精度 ^{*1、*3}	±0.005nm (1520~1570nm)、±0.01nm (1450~1520nm、1570~1620nm)、±0.05nm (全波長範囲)	
波長直線性 ^{*1、*3}	±0.004nm (1520~1570nm)、±0.008nm (1450~1520nm、1570~1620nm)	
波長再現性 ^{*1}	±0.002nm (1分間)	
波長分解能設定 ^{*1}	0.005、0.01、0.02、0.05、0.1、0.2、0.5、1、2nm、および任意分解能 (0.01~2nm、0.01nmステップ)	
分解能帯域幅精度 ^{*1、*4}	±5% (1450~1620nm、分解能: 0.1~2nm)	
波長サンプル数	101~200001、AUTO	
最小サンプル分解能	0.0005nm (0.5pm)	
測定感度設定 ^{*5}	TRADモード	NORM_HOLD、NORM_AUTO、NORMAL、MID、HIGH1、HIGH2、HIGH3
	RAPIDモード	RAPID1~6
レベル感度 ^{*1、*6}	TRADモード	-85dBm (1200~1600nm、感度: HIGH3)
	RAPIDモード	-72dBm (1200~1600nm、感度: RAPID6)
高ダイナミックレンジモード	SWITCH (感度: MID、HIGH1~3、RAPID4~6)	
最大安全入力パワー ^{*1、*2}	+25dBm (全入力パワー)	
最大入力パワー ^{*1、*2}	+20dBm (1チャンネルあたり、全波長範囲)	
レベル精度 ^{*1、*2}	±0.5dB (1310/1550nm、入力レベル: -20dBm、感度: MID、HIGH1~3、RAPID4~6)	
レベル直線性 ^{*1、*2}	±0.05dB (入力レベル: -50~+10dBm、感度: HIGH1~3)	
レベル平坦性 ^{*1、*2}	±0.2dB (1520~1570nm、1570~1620nm)	
偏波依存性 ^{*1、*2}	±0.2dB (1550nm)	
近傍ダイナミックレンジ ^{*1、*7}	分解能: 0.005nm	60dB (ピーク波長±0.1nm)、45dB (ピーク波長±0.05nm)
	分解能: 0.02nm	65dB (ピーク波長±0.2nm)、55dB (ピーク波長±0.1nm)
迷光抑圧比 ^{*7、*8、*10}	80dB	
光反射減衰量 ^{*9、*10}	30dB	
光入力コネクタ	FC/PCまたはSC/PC	
測定時間 ^{*10}	0.2秒 (感度: RAPID1、スパン: 100nm、サンプル数: 100001、平均化回数: 1)	
内蔵光源	自動校正専用波長基準光源 (-L1)	
ウォームアップ時間	1時間以上	
電気インタフェース	Ethernet、GP-IB、USB、VGA出力、アナログ出力ポート、トリガー入力ポート、トリガー出力ポート	
リモートコントロール ^{*11}	インタフェース: Ethernet (TCP/IP)、GP-IB、コマンド: SCPI (IEEE488.2)、AQ6317シリーズ互換コマンド (IEEE488.1)	
バージガス入出力端子	外径 1/4 ナイロンチューブ (インチサイズ)	
データストレージ	内部ストレージ: 512MB以上、外部ストレージ: USBストレージメディア (メモリー、HDD)、フォーマット: FAT32 ファイルタイプ: CSV (text)、バイナリ、BMP、PNG、JPEG	
表示器 ^{*12}	10.4型カラーLCD (静電容量式タッチパネル、解像度: 1024×768ピクセル)	
外形寸法	約 426 (W) × 221 (H) × 459 (D) mm (プロテクタ、ハンドルを除く)	
質量	約 25kg	
電源	100~240VAC、50/60Hz、100VA以下	
環境条件	性能保証温度範囲: +20~+26°C、動作温度範囲: +5~+35°C、保存温度範囲: -10~+50°C、周囲湿度: 20~80% RH (結露しないこと)	
安全規格		EN 61010-1
	レーザー	EN 60825-1: 2014+A11: 2021、IEC 60825-1: 2014、GB/T 7247.1-2024、クラス1
エミッション	EN 61326-1 Class A、EN 55011 Class A Group 1、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、RCM EN 55011 Class A Group 1、韓国電磁波適合性基準	
イミュニティ	EN 61326-1 Table 2	
推奨校正周期	1年	

特記なき場合、23°C±3°C、1時間以上のウォームアップ後、パルス光測定モードOFF、高ダイナミックレンジモードOFF、横軸スケール: 波長、

縦軸スケール: 絶対値レベル

*1: 9.5/125μm シングルモードファイバー (PC研磨) 使用時、内蔵光源によるアライメント調整および波長校正後

*2: 波長分解能: ≥0.1nm

*3: 分解能: 0.005nm、波長サンプル数: AUTO、感度RAPID1およびNORM_HOLDを除く

*4: 外部光源による分解能校正後、校正波長にて。外部光源は、単一縦モードレーザー (波長: 1520~1560nm、ピークレベル: -20dBm以上、レベル安定度: 0.1dBpp以下、波長安定度: ±0.001nm以下)

*5: TRADモード: CW光およびパルス光測定に対応。RAPIDモード: CW光測定のみに対応。

*6: 分解能: 0.1nm、波長サンプル数: AUTO

*7: 1523nm、高ダイナミックレンジモード: SWITCH

*8: HeNeレーザー (1523nm) 入力時、波長分解能: 0.1nm、1520nm~1620nm (ピーク波長±2nmを除く)

*9: 当社の基準PC研磨コネクタつきシングルモードファイバー使用時

*10: 代表値 (Typical value)

*11: AQ6317シリーズ対応コマンドは、対象機種仕様と機能の関係によりいくつかのコマンドは互換性をもたない場合があります。

*12: 液晶表示器には、一部常時点灯しない画素および常時点灯する画素が存在する場合 (RGBを含む全画素数に対して0.002%以下) があります。これらは故障ではありません。



Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11 except for conformance with IEC 60825-1 Ed. 3, as described in Laser Notice No. 56, dated May 8, 2019.
4-9-8 Myojin-cho, Hachioji-shi, Tokyo 192-8566, Japan

項目	機能
測定	CW光、パルス光 (ピークホールド、外部トリガー、ゲートサンプリング)
掃引設定	シングル、リピート、AUTO (測定条件自動設定)、ラインマーカー間掃引、0nmスパン掃引
測定条件設定	中心波長、スパン、波長サンプル数、波長分解能、測定感度 (TRAD/RAPIDモード)、高ダイナミックレンジモード、平均化回数 (1~999回)、スムージング、空気/真空波長
その他	掃引状態出力、アナログ出力
表示	縦軸スケール レベルスケール (0.1~10dB/div、リニア)、レベルサブスケール (0.1~10dB/div、リニア)、基準レベル、DIV設定 (8、10)、パーセント (%)、パワースペクトル密度 (dB/nm)、ノイズマスク
横軸スケール	波長 (nm)、周波数 (THz)、トレースズームイン/ズームアウト
表示項目	測定条件、トレース、データテーブル、ラベル
トレース	独立7トレース、MAX/MINホールド、トレース間演算、正規化、ロールアベレージ (2~100回)、カーブフィット、ピークカーブフィット、マーカーカーブフィット、パワースペクトル密度 (POWER/NBW) トレースコピー、トレースクリア、トレース書込/固定設定、トレース表示/非表示設定
マーカー	デルタマーカー (最大1024マーカー)、パワースペクトル密度マーカー、パワー積分マーカー、ラインマーカー
サーチ	ピークサーチ (シングル/マルチ)、ボトムサーチ (シングル/マルチ)、オートサーチ (ON/OFF)、波長ラインマーカー間サーチ、ズームエリア内サーチ
データ解析	スペクトル幅解析 (Threshold、Envelope、RMS、Peak-RMS、Notch)、WDM (OSNR) 解析、EDFA-NF解析、フィルター解析 (ピーク/ボトム)、WDMフィルター解析 (ピーク/ボトム)、DFB-LD解析、FP-LD解析、LED解析、SMSR解析、パワー解析、オート解析ON/OFF、波長ラインマーカー間解析、ズームエリア内解析
アプリケーション	WDMテスト、DFB-LDテスト、LEDテスト、FP-LDテスト、ファイバー端面検査、アプリケーション管理 (追加/削除)
その他	光軸調整 内蔵光源による自動アライメント調整
校正	内蔵光源による自動波長校正、外部光源による波長校正、外部光源による波長分解能校正

インタフェース



1 タッチパネル ディスプレイ

測定条件、スペクトル波形、解析結果などを表示します。ほぼすべての操作は、タッチパネルから行えます。

2 ファンクションキー

メイン操作メニューと使用頻度の高い機能へのショートカットキー

3 データエントリ

10キー、上下キー、およびロータリノブにより、測定パラメータ、ラベル、カーソル位置などの各種設定を簡単かつ素早く行えます。

4 光入力部

被測定光を光ファイバーケーブルを使用して入力します。入力コネクタの種類は、別売のコネクタアダプタにより変更できます。

5 USB

USBデータストレージデバイス、マウス、およびキーボードに対応

6 イーサネット (10/100/1000BASE-TX)

ネットワークインタフェース
リモートコントロール、データ転送、およびファームウェアアップデートに対応

7 GP-IB

リモートコントロール用インタフェース

8 ビデオ出力 (VGA)

測定器画面を外部モニターに出力します。

9 トリガー入力および出力

外部トリガー信号を使用してパルス光測定や周回実験の測定が行えます。

10 アナログ出力

光スペクトル強度に応じたアナログ電圧を出力します。オシロスコープによる安定度試験などに利用できます。

11 パージガス入力および出力

モノクロメータ内の水蒸気を低減するためのパージガス循環用給排気口

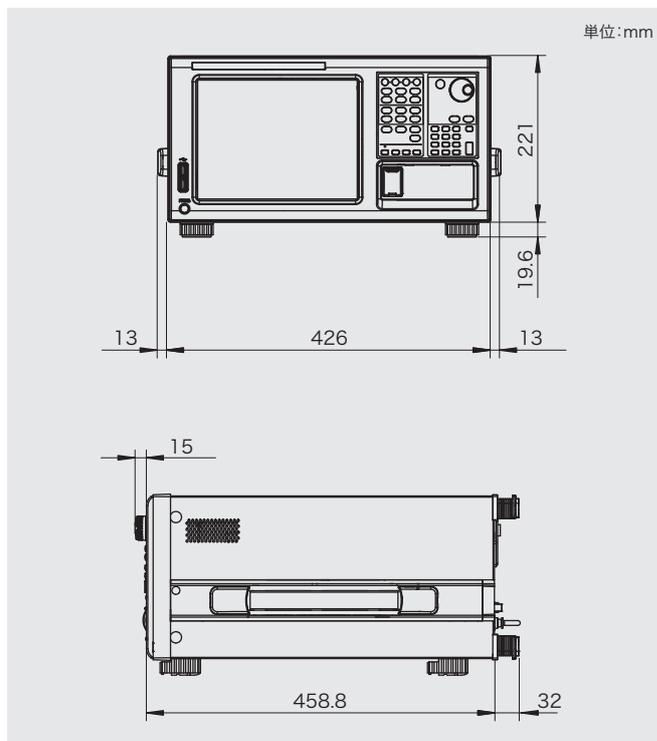
形名および仕様コード

形名	仕様コード	記事
AQ6380		AQ6380 光スペクトラムアナライザ
仕様設定	-10	標準モデル
内蔵光源	-L1	波長基準光源
光入力コネクタ	-FCC	FC/PC
	-SCC	SC/PC
電源コード	-D	UL/CSA規格、PSE適合、 定格電圧：125V

別売アクセサリ

品名	形名	記事
AQ6370 Viewer	735371	対応機種：AQ6380、AQ6360、および AQ6370 シリーズ
AQ9441 コネクタアダプタ	AQ9441-FC	FCタイプ
	AQ9441-SC	SCタイプ
ラックマウントキット	751535-E5	インチタイプ

AQ9441 コネクタアダプタ (光入力用)



地球環境保全への取組み

- 製品はISO 14001の認証を受けている事業所で開発・生産されています。
- 地球環境を守るために横河電機株式会社が定める「環境調和型製品設計ガイドライン」および「製品設計アセスメント基準」に基づいて設計されています。

ご注意



- 本製品を正しく安全にご使用いただくため、「取扱説明書」をよくお読みください。

■本文中に使われている会社名および商品名称は各社の登録商標または商標です。

YOKOGAWA



横河計測株式会社

本社 〒192-8566 東京都八王子市明神町4-9-8
TEL:042-690-8811 FAX:042-690-8826
ホームページ <https://www.yokogawa.com/jp-yimi/>

製品の取り扱い、仕様、機種選定、応用上の問題などについては、
カスタマサポートセンター ☎0120-137-046 までお問い合わせください。
E-mail : tmi-cs@csv.yokogawa.co.jp
受付時間：祝祭日を除く、月～金曜日/9:00～12:00、13:00～17:00

お問い合わせは 東京電機産業株式会社

■関東エリア		■新潟エリア	
本社	【TEL】 03-3481-1111	新潟支店	【TEL】 025-244-6151
横浜支店	【TEL】 045-576-0025	上越営業所	【TEL】 025-543-9633
千葉支店	【TEL】 0436-42-8333	■中部エリア	
宇都宮支店	【TEL】 028-636-6440	四日市支店	【TEL】 059-353-3151
北関東支店	【TEL】 048-530-2200	■関西エリア	
松本営業所	【TEL】 0263-26-1811	関西支店	【TEL】 06-6385-1102
銚子営業所	【TEL】 0479-23-3381	岡山営業所	【TEL】 086-474-5090
高崎営業所	【TEL】 027-326-1500	京滋営業所	【TEL】 077-501-2111
さいたま営業所	【TEL】 048-669-1511	福知山営業所	【TEL】 0773-52-1160

YMI-N-MI-M-J01